

# みんなのギャラリー

市民の皆さんの投稿コーナーです。  
紙面の都合で掲載できないことがあります。

問い合わせ

福津市中央公民館  
☎43・2100  
FAX 43・2868

地域婦人会だより

山陰、出雲の旅

松川 洋子

## 川柳 【福岡川柳会】

金盃に今年の福を酌み交す  
西 和子  
老いを捨て若さ拾いに雑踏へ  
中原 恵子  
福寿草咲く木洩れ日に覆われて  
西村かおる  
諦めが早いと福にとやされる  
神谷 幸恵  
北風を紡ぐこの手に福が来る  
藤本久美子

## 俳句 【太郎丸俳句会】

中継の現場に採まれ初詣  
木下 正治  
わが家に新しき顔屠蘇を酌む  
田中二史子  
荷をとけば故郷の匂や蕪漬  
西山 典子  
じゃれ合へる小犬のみたる恵方かな  
畑迫 義文  
十二月メモ一つづつ消されをり  
畑迫みさを  
何もなきことこそよけれ年迎ふ  
高見 英夫

## 【津屋崎俳句会】

山茶花の花びら拾ふ孫愛し  
藤山 圭子  
晩節のめぐりめぐりて初明り  
鈴木あつ子  
三十年前の竹馬まだ眠る  
小原 修子  
初日の出灘のかぎりを輝やかす  
中山ふじ子  
節約も今日は三猿暮の市  
室元松喜興  
憲兵の叔父のサーベル蔵開き  
熊本 栄美  
北鮮の砲撃記事が葱包む  
熊本 隼人

## 短歌 【わたつみ短歌会詠草】

ダルタニヤンの声にはじまる朝が来ぬ  
一週間の経過の早さ  
徳田 敏子  
たわいない事をいいあい笑いいい  
年忘れ歌会はなごやかに過ぐ  
立野ゆかり

## 囲碁・将棋大会 結果



### 市実年囲碁会12月例会

次回は、2月1日(火)、2月15日(火)午前10時  
受付締切により、中央公民館和室で開催します。

|    | 1位    | 2位    | 3位    |
|----|-------|-------|-------|
| 1  | 泉 巖   | 岩谷 巖  | 牛垣 徹  |
| 2  | 猪俣 征雄 | 佐藤 弘  | 田中 英則 |
| 3  | 江藤 一幸 | 宮崎 良一 | 東 治夫  |
| 4  | 山崎 和夫 | 木植 宏  | 今和泉敏之 |
| 5  | 三宅 三郎 | 橋本 鉄一 | 石 正樹  |
| 6  | 船橋 雄  | 加村 光義 | 足立 文雄 |
| 7  | 崎村 忠司 | 満生 忠雄 | 中嶋 一  |
| 8  | 森 研志  | 折目 實  | 萩 忠志  |
| 9  | 永島 和美 | 堺屋 光男 | 金沢 美啓 |
| 10 | 徳永 吉三 | 鶴留 昭  | 泉 規美子 |
| 11 | 鶴 千年  | 船津 正和 | 田所 巖  |
| 12 | 西住 弘久 | 上野 象三 | 立和田 實 |
| 13 | 大塚 俊一 | 春藤 哲夫 | 柳田 正尚 |
| 14 | 荒巻 渉  | 平 輝美  | 立花 基喜 |

連 東 輝雄 ☎43・1626

### 福津市将棋同好会12月例会

|   | 1位    | 2位    | 3位    |
|---|-------|-------|-------|
| A | 滝口 純一 | 石松 大明 | 北原 靖三 |
| B | 秋山 元治 | 赤星 文雄 | 椎名 淳  |
| C | 村上 良明 | 小川 正史 | 安波 寛  |
| D | 工藤 幸夫 | 岡部 隆  | 井上 安高 |
| E | 吉村 友行 | 松田 滝男 | 西井 金美 |
| F | 仲上 徹志 | 田中 幸村 | 岡 正敏  |

連 吉村 友行 ☎43・1308

### 福津市囲碁会12月例会

次回は、2月13日(日)午前10時受付締切により、  
総会後、囲碁会を中央公民館和室で開催します。

|    | 1位      | 2位      | 3位      |
|----|---------|---------|---------|
| 1  | 執行清春(五) | 今丸 眞(五) | 宮崎良一(五) |
| 2  | 三原敏男(四) | 牛垣 徹(五) | 猪俣征雄(四) |
| 3  | 荻野 力(四) | 太田隆晴(四) | 佐藤 弘(四) |
| 4  | 井本雅文(三) | 山崎和夫(三) | 木植 宏(三) |
| 5  | 加村光義(三) | 中島 孚(三) | 小田邦彦(三) |
| 6  | 山口忠男(三) | 萩 忠志(三) | 水上重文(三) |
| 7  | 花田和彦(三) | 金沢美啓(三) | 林田健介(三) |
| 8  | 内場和光(三) | 森 研志(三) | 杉本 徹(三) |
| 9  | 満生忠雄(初) | 森北新吉(三) | 花田 章(三) |
| 10 | 堺谷光男(初) | 橋本繁晴(初) | 鶴留 昭(初) |
| 11 | 塚崎国茂(二) | 坂井 衛(四) | 城野正雄(一) |

連 今丸 眞 ☎43・3325

### 津屋崎囲碁同好会12月例会

次回は、2月27日(日)午前11時から文化会館で開催します。

|   | 1位    | 2位    | 3位    |
|---|-------|-------|-------|
| A | 菅原 勝弘 | 今泉 武志 | 中嶋 孚  |
| B | 井本 雅文 | 永島 和美 | 伊藤 重信 |
| C | 城野 正雄 | 西住 弘久 | 坂井 衛  |

連 永島 和美 ☎52・5610

初鏡つくづく母に似てきたり

木村 克子

忘れもの見つけ出したり初仕事

納富 早苗

初詣バイトの巫女も凜凛しくて

目代タカ子

会釈して戸惑はれたるマスクかな

高見 元子

初日矢の海に届きてめでたけれ

山田 章

新雪の阿蘇に心の改まる

松崎 佐

ひびきあう心委ねて初句会

塩毛 信子

参道の雨にかけだす初詣

黒岩貴美子

浮寝鳥やつと動くを見届けり

石田フサ子

割引にふりまわされし師走風

薄 多佳子

誉め言葉などはいらぬ枇杷の花

上妻 松子

冬晴やヨガにチャレンジ七十路よ

岡部ヤエ子

佗助や歯抜けの農夫よくしゃべる

あうんあうん

廃坑の歴史の碑文舞う紅葉

田中 照子

山茶花の垣根やほら忘れ物

原田 令子

鍋鶴の鳴き合いてより初明り

つるみつお

指先にすくしいスクリーム寒の入り

小野むつ子

小さき靴の脱ぎ散らしたるクリスマス

幣 ふじの

枇杷の花山積みされし家電品

小松富佐子

## 【玄鳥俳句会】

## 【川柳】

ここだけは通す私であるために  
東 浩子  
五十年添うて豊かな春を汲む  
長井すみ子  
仕事なく年々増える評論家  
空谷 弘通  
もくもくと皆が黙る恵方巻  
林田恵津子  
義理だけど君からのチョコ嬉しくて  
久保山裕昭  
ミカン剥く家族の炬燵笑い声  
安井 秀子

嬰兒のごとく大葉に包まるる  
カリフラワーの収穫近し  
小林 陽子

## 【一般投稿】 — 短歌 —

集落に放棄地哀れ泡立ち草  
主亡き地に鳥の声聴く  
徳永タミ子  
膝痛む七十路や春を待ちわびて  
香月 常彦  
駅伝の中継に映る高崎市の  
景にぞ見入る娘の住みをれば  
野口 幸三  
駅裏に道路新設橋も出来  
夢ふくらむや 迷わずの道  
宙 燃  
福江港ウオーキングに初挑戦  
米寿を追って足痛し  
阿部 英子  
ぬかるみはいつまで続く学舎よ  
苛められし子の命を絶ちぬが  
方木 修一

庭の面に春の光はあやふくて  
われは形見の紅を引きをり  
宗像 治子

寒空にすくと立ちて  
水仙の香りほのかに部屋に満つ  
山崎あつ子

蹲に水が薄く張りてをり  
枯葉一枚閉じ込めしまま  
野間 精一

シャンソンの人生の歌愛の歌聞けば  
懐かしマロニエの巴里  
山本 夏枝

## 【一般投稿】 — 俳句 —

羽根を突く羽子板でない美しくしさ  
管田 隆一  
ゆきくれて不安の日々や寒の雨  
徳永タミ子  
黄落や風に吹かれているコップ  
寺嶋 幸子  
揃はざる庭の若葉も七草に  
藤吉 綾子